

古田織部の陶工たち

—九州の「へうげもの」高取焼を中心に—

古田織部美術館編

6月中旬刊行

A4判・48頁・並製

定価1,200円+税

古田織部好みの焼物は中部地方の美濃焼(織部・志野)と九州の唐津焼が中心だが、九州にはもう一つ、知られざる名陶高取焼がある。

その様式は他地域の織部好みと極めて似ており、窯印も同一のものがある。このことから陶工が移動して造ったことが考えられ、織部様式が全国に広く伝播していたことが窺える。興味深いのは、それらが美濃の技法を完全に踏襲しているのではなく、ところどころに加味された違いの中に、当地の大名たちの好みを見て取ることができる点である。

本書では、美濃と高取を中心に、同じ形状の焼物や同じ窯印のものを隣り合わせて掲載することによって、そつした類似と差異の面白さに光を当てる。

古田織部の下で活躍した陶工たちや焼物商の実像が浮かび上がる。

〈内容目次〉

第一章「織部高取」を焼いた鷹取焼内ヶ磯窯／第二章高取焼内ヶ磯窯と各地の窯印の比較／第三章高取焼内ヶ磯窯の出土品(小山コレクション)／〈付録1〉古田織部関係陶工の窯印／〈付録2〉をはりの花風の章「瀬戸の陶工印」／〈付録3〉「別所吉兵衛一子相伝書」抄／高取焼内ヶ磯窯と古田織部ゆかりの陶工／高取焼内ヶ磯窯と渡り陶工

古田織部の世界

宮下玄覇編

好評発売中

A4判・156頁フルカラー・並製

定価1,800円+税

「へうげもの」といわれた焼物ほか、漠然としていた織部好みの全貌を、豊富なビジュアル資料で紹介し、織部の世界を再現する。カラー図版250点掲載。

〈内容目次〉

プロローグ 利休兵部そして織部へ／織部好の露地・茶室／織部茶会再現／織部好の茶道具／織部自作の茶道具／工ピローグ 織部好の特徴

注文書		
書店(帳合)印		
委託		
注文数	担当	
冊	様	
書名	発行 古田織部美術館 京都市北区大宮釈迦谷一〇一三七 鷹峯大岡山荘内 発売 株式会社 宮帯出版社 京都市上京区真倉町七三九一 TEL075-441-7777 TEL075-441-7777 FAX075-441-7777	
ISBN978-4-8016-0029-4	C0070 ¥1200E	
定価(本体1200円+税)		
年	月	日

注文書		
書店(帳合)印		
注文		
注文数	担当	
冊	様	
書名	発行 株式会社 宮帯出版社 京都市上京区真倉町七三九一 TEL075-441-7777 TEL075-441-7777 FAX075-441-7777	
ISBN978-4-8016-0001-0	C0021 ¥1800E	
定価(本体1800円+税)		
年	月	日

●ご注文・お問い合わせは

株式会社 宮帯出版社

〒602-8488 京都市上京区真倉町739-1 www.miyaobi.com

TEL. (075) 441-7747 FAX. (075) 431-8877